

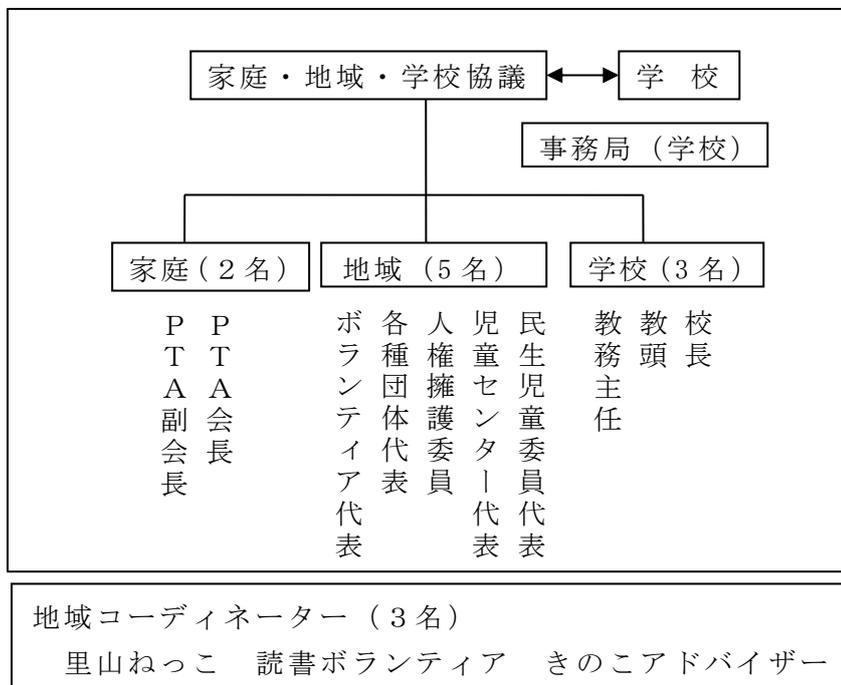
(様式3)

## 令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

おおい町立名田庄小学校

### 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

#### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



#### (2) 協議会の内容

- \*開催回数 年間3回
- \*開催日程 第1回 7月16日  
第2回 11月14日  
第3回 2月19日
- \*協議内容  
第1回
  - ・趣旨説明
  - ・活動方針、活動計画の決定
  - ・その他第2回
  - ・教育活動の中間報告
  - ・学校評価について第3回
  - ・学校評価の結果報告と評価
  - ・今年度の反省と来年度の課題

#### (3) 協議会における成果と課題

成果としては、地域で生活する児童の様子が事細かに、協議会の場で共有できたことである。

児童の基本的な生活習慣の育成を地域や家庭と学校の協働体制で取り組んでいくことの難しさについて、協議会で常に話題となった。しかし、すぐに対応策が見えてこないことが課題であり、話し合った内容を保護者に返すことで、さらなる連携強化のきっかけとしていきたい。

### 2 地域と進める体験活動

#### (1) 活動のねらい

体験学習することで、おおいの自然に誇りや愛着をもち、心豊かにたくましく生きる児童を育てる。

#### (2) 活動の実際

##### ① たてわり川遊び体験 (全校児童)

NPO 法人の方のアドバイスを得て、たてわり川遊び (たてわり班) の企画を具体化し実践した。

たてわり川遊びは、たてわり活動の一環として毎年7月に開催している。今年も6年生が、指導していただいたことをもとに企画・準備を進めてきた。一緒に行動する児童のペアを決めたり、持ち物や注意点を書いたしおりを作ったり、遊びの企画をしたりした。

名田庄の自然 (南川) に親しみながら、河原の石を使ったゲームをしたり、児童がペアで川に住む生き物を探したりした。全校児童が参加し、異年齢集団での活動により、児童の交流を深めることができた。

体験後、感想を述べ合うことにより、児童の互いのきずなを深めることができ



たてわり川遊び

た。

## ②米作り体験学習（５年生）

５年生が、５月に学校の田んぼ「名田んぼ」で田植えを行った。本校近くの農園を経営されている方に、苗の品種や苗の植え方を教えていただきながら、１本１本丁寧に苗を植えた。児童たちは、田んぼの暖かさと土の感触を肌で感じる事ができた。

田植えが終わるころには、児童たちは汗だくになり、一生懸命に苗を植えていたため泥だらけとなった。田植え後の児童の感想からも田植えの大変さを実感できたことが伝わってきた。

田植えをしてから４ヶ月半、５年生は稲を観察しながら成長を見守ってきた。９月になり、ずっと稲の管理をしてきてくださった農園の方に、刈り取りの仕方を教えていただき、慣れない手つきで少しずつ稲を刈り取った。

今年度も昨年度と同じように、全校児童や日頃お世話になっているボランティアの方、公民館、図書館、駐在所の方々に収穫したお米を配付した。さらに今年度は給食センターへも届け、町内の小中学校の給食で小中学生に食べてもらった。

１０月に里山文化交流センター「ぶらっと」で開催された「里山まつり」の来場者の方に、自分たちが収穫したお米をPRするとともに、無料配付をした。

## ③しいたけ栽培（６年生）

６年生が、１月にしいたけの菌床からしいたけを育て、しいたけを収穫した。収穫したしいたけを各家庭へ持って帰り、家庭で親と考えを出し合いながら調理方法やいろいろな食べ方を考え、学校でそれらの考えを交流することができた。

### （３）地域コーディネーターの活動概要

- ・ 活動の企画段階から助言・提案
- ・ 地域各種団体との連絡調整
- ・ 児童のリーダーへの指導
- ・ 当日の活動の補助

### （４）特に工夫した事項

- ・ 近くにあるおおいの自然（南川）を体験すること。
- ・ お米作りの体験と日頃お世話になっている地域の方々への感謝の気持ちを込めたお米の配付。
- ・ ふるさとおおいの魅力を改めて体感できる活動。
- ・ 地域や家庭と協力した体験活動。

### （５）成果と課題

スクールプランの重点項目の中に「地域と共に育つ学校（信頼される学校）」「地域の方の知恵や技能、場所、施設等を教育活動に活かすふるさと学習の充実」「家庭・地域と連携し、共に子どもを育てる取組」「夢をえがくキャリア教育の推進」を掲げ、地域との連携による郷土愛の育成を目指してきた。

この事業を通して、学校の地域連携の意識がより高まった。児童は、川の生き物を観察したり、いっしょに遊んだりして友達のよさや、川の大切さ、楽しさに気づくことができた。

米作りを通して、農家の人たちの大変さを体験することができた。また、米の配付を通して、地域の方から感謝される喜びや交流することの大切さを知ることができた。

しいたけ栽培ではおおい町の特産物を知り、家族とともに調理方法を考えることを通して、より広くおおい町の特産物を知ることができた。

今後も学校からさまざまな情報を地域に発信する取組をしていきたい。